

わがまち再発見!!

守ろう、私たちの文化財

対馬市教育委員会 文化財課

☎0920(54)2341

対馬各地の地名

(大字編)

【厳原町安神】

『津島記事』でも、由来は不明と記しており、一説として『万葉集』に収められた歌に見える「安可見山」が、安神のことだという説が江戸時代にまとめられた『対州名所記』という本に書かれていますが、真偽は不明です。

「アカ」には湿地という意味があつたり「アガ」には「上」つまり台地という意味があつた区の地形には合致しているとは言えず、やはり由来は不明です。

【厳原町尾浦】

『津島記事』では、島根山の岬に集落が位置しているという地理的な条件を由来とする説や、万葉集に語源を求める説などいくつかの由来をあげていますが、はつきりとした由来は分かっていません。

尾浦の地名は、室町時代の古文書に記されているのが最初ですが「おうら」とひらがなで表記されています。江戸時代の藩の記録では「大うら」との表記も見られることから、元は「大浦」であつた可能性もあり、浦が大きく開いている尾浦の地形にも合致していることから、地形が由来の可能性も考えられます。

「アカ」には湿地という意味があつたり「アガ」には「上」つまり台地という意味があつた区の地形には合致しているとは言えず、やはり由来は不明です。



大崎山砲台跡

内山岬から尾浦・安神方面を望む

【厳原町久和】

『津島記事』では『日本書紀』の雄略天皇十六年秋七月に全国に桑を植えるように詔があつたと記されていることを由来として「初めて桑を植

えた地」ではないかと推察しています。この説の真偽はともかく「クワ」という音から「桑」もしくは「鉄」が由来であつたと考えられるが、地名の由来としてはやはり「桑」に関連したものであつたと考えられます。

矢印の大崎山(尾浦)に昭和9年、大崎山砲台が築かれました。画面には映っていませんが、写真右手の竜ノ崎(安神)にも大正13年から竜ノ崎砲台が築かれています。

つしま図書館情報

つしま図書館 ☎0920(52)3900

●つしま図書館10周年記念公演のお礼

10月に行った劇団影法師による「影絵音楽劇」では、多くの方にご来場いただき、ありがとうございました。今後とも、つしま図書館をよろしく願います。

12月の休館日

休館日

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

今月のおすすめ新着本

室町無頼

応仁の乱前夜の京都。ならず者の頭目・骨皮道賢と、浮浪の徒・蓮田兵衛は、日本史に悪名を刻む企てを画策していた。長崎出身の垣根涼介の最新作。

垣根涼介/著



ペコロスのいつか母ちゃんにありがとう

「ペコロスの母」でおなじみ、岡野さんの"ぶっちゃけ爆笑介護体験"を、ユーモアたっぷりにお届けします。

岡野雄一/著



私、山の猟師になりました。

狩猟や罠に興味を持つ人が増えている中、実際に猟師になった人の体験談から、どうしたら技術を体得できるかを紹介します。

三好かやの/著



ハルとカナ

「どうして女の子は女の子で、男の子は男の子で固まるのかな。不思議だね」小学2年生のハルとカナに芽生えた小さな小さな恋の物語。

ひこ・田中/作
ヨシタケシンスケ/絵



かみなりどん

突然の大雨。恐ろしい轟音とともに、子どものかみなり[どん]が、うっかり地上に落ちてきた! 泣きじゃくるどんを、けんたと友だちは、空へかえそうとするのですが…。

武田美穂/作



知ってる? 卓球クイズでスポーツがうまくなる

卓球に必要なのは「心技体知」の4つの子カラ。大人から子どもまで、クイズにこたえることで、それらを磨く方法がわかります。

藤井寛子/著

